

テレマティクス自動車保険

当社は、テレマティクス※自動車保険のフロントランナーとして先進的な商品・サービスを提供し、「事故のない快適なモビリティ社会」の実現を目指しています。

※テレマティクスとは、「テレコミュニケーション（通信）」と「インフォマティクス（情報工学）」を組み合わせた造語で、自動車などの移動体に通信システムを搭載することにより、さまざまな情報を送受信できるシステムを指す。

テレマティクス
自動車保険とは？

通信技術を活用して取得したお客さまの走行データをもとに、安全運転スコアに応じた保険料割引・安全運転アドバイスなど事故の未然防止につながる機能・サービスを提供。さらに、万が一の事故の際には、先進的な事故対応サービス（テレマティクス損害サービス）により、事故の早期解決も実現しています。



リスクを見つけ伝える

平時の未然予防 事故・災害の直前

経済負担を小さくする

リスクの発現を防ぐ
影響を小さくする

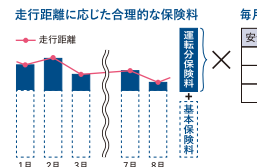
テレマティクス自動車保険

- ▶ 安全運転診断レポートで運転を振り返り
- ▶ 脳トレアプリで楽しくトレーニング
- ▶ ADテレマイレージでポイントを貯める



事故頻度 ▲16% (2024年3月時点。当社調べ)

- ▶ 安全運転の度合いをスコア化
- ▶ 安全運転で保険料が割引に



安全運転スコア	割引率
80点以上	80%割引
60～79点	40%割引
59点以下	割引なし

テレマティクス損害サービス

- ▶ 最先端・高度な事故対応サービス



事故解決日数 ▲16.4% (2024年3月時点。当社調べ)

テレマティクス技術・データをさまざまな地域・社会課題の解決に活用

地球環境の保全・CO₂排出削減

事故削減による
産業廃棄物減少・
代替部品の削減



事故渋滞の削減
(燃費の向上)
エコドライブの普及
(燃費の向上)

さらなる事故削減・快適な町づくり

危険挙動箇所を
地図上にマッピング



▶ 危険箇所を把握し、道路環境の
改善などの交通安全対策へ活用

路面状態の把握



▶ インフラ整備へ活用

健康・ヘルスケア

高齢者の
運転寿命延伸



社会貢献

『ADテレマイレージ』活用・寄付
日本赤十字社のウクライナ人道危機救済金や令和
6年度能登半島地震義援金など

地域社会の未来を変える保険へ(SAFE TOWN DRIVE)

お客さまがテレマティクス自動車保険の各機能・サービスを活用し安全運転を継続することで、地域全体がもっと安全になり、社会に安心の輪を広げます。そして、安心な社会は、お客さまやお客さまの大切な人を守ります。



Telematics
Town
テレマティクスに関する
情報がまるっとわかるサイト



Pick Up!

テレマティクス技術・データを活用した取組みで
「令和4年度 冬のDigi田甲子園」に優勝し、「内閣総理大臣賞」を受賞



【福井県・福井県警察との共同取組み】

デジタル(テレマティクス)技術を活用した
新たな交通安全対策

冬のDigi田甲子園とは？

「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた機運醸成を図るため、民間企業等の最も優れた取組みを「内閣総理大臣賞」として表彰する制度です。172個の応募取組みの中で、当社のテレマティクス技術・データを活用した取組みが最も優れた事例として、内閣総理大臣賞を受賞しました。



内閣官房より提供

取組み内容

当社のテレマティクス技術により県内ドライバー(454名)の運転データを取得し、危険運転発生地点を示す「福井県交通安全マップ」を作成・公開しました。取得したデータを活用し、事故実績に基づく事後対応ではなく、危険運転エリアに対する先手先手の対策を行うことで、事故の未然防止を目指しました。

1

運転挙動データ収集

期 間 2021年10月～2022年1月
エリア 福井県福井市内(明新地区周辺)
参加者 454名(県内企業、教育機関、県民)



2

「福井県交通安全マップ」作成・公開

福井県交通安全マップ



取得した
危険運転
データ

警察庁
交通事故
オープンデータ

3

対策実施・効果検証

① 対策実施



② 効果検証



テレマティクス技術・データを活用し、事故実績に基づき、事故を未然に防止

交通安全対策の実施

「福井県交通安全マップ」の活用により、福井市明新地区が新たにゾーン30エリアに指定



デジタル人材育成

「福井県交通安全マップ」を用いたデータ分析学習が実施され、小中学生が通学路の交通安全対策を検討・発表



取組み紹介動画

